

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年8月13日
【四半期会計期間】	第45期第2四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）
【会社名】	光ビジネスフォーム株式会社
【英訳名】	HIKARI BUSINESS FORM CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 林 陽一
【本店の所在の場所】	東京都八王子市東浅川町553番地 (上記は登記上の本店所在地であり、実際の本社業務は下記の場所で行っております。)
【電話番号】	-
【事務連絡者氏名】	-
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西新宿二丁目6番1号
【電話番号】	03(3348)1431(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部長 中沢 徳夫
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪府大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

提出会社の経営指標等

回次		第44期 第2四半期累計期間	第45期 第2四半期累計期間	第44期
会計期間		自平成23年1月1日 至平成23年6月30日	自平成24年1月1日 至平成24年6月30日	自平成23年1月1日 至平成23年12月31日
売上高	(千円)	3,437,263	3,354,048	6,749,005
経常利益	(千円)	105,451	216,688	189,885
四半期(当期)純利益	(千円)	16,812	86,847	56,460
持分法を適用した場合の 投資利益	(千円)	-	-	-
資本金	(千円)	798,288	798,288	798,288
発行済株式総数	(株)	5,815,294	5,815,294	5,815,294
純資産額	(千円)	6,116,313	6,180,633	6,126,664
総資産額	(千円)	8,484,503	8,291,392	8,217,846
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	2.90	15.00	9.75
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
1株当たり配当額	(円)	-	-	15.00
自己資本比率	(%)	72.1	74.5	74.6
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	339,675	479,196	546,600
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	23,765	63,173	61,207
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	341,288	334,705	513,225
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	294,467	373,331	292,014

回次		第44期 第2四半期会計期間	第45期 第2四半期会計期間
会計期間		自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	14.28	5.34

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等については、記載しておりません。

3 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社がないため記載しておりません。

4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため、記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容に重要な変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復興事業による内需の下支えなどにより緩やかに回復しつつあるものの、原油価格の高騰や電力供給不足の問題、欧州の財政懸念の再燃など依然として先行き不透明な状況にあります。

フォーム印刷業界におきましては、電子媒体やデジタル化の進展により一般ビジネスフォーム印刷の需要が逡減しており、その中で企業の経費削減や価格競争が激しくなるなど、厳しい経営環境となりました。

この様な情勢の中での結果、売上高3,354百万円（前年同四半期比2.4%減）、営業利益217百万円（同105.3%増）、経常利益216百万円（同105.5%増）、四半期純利益86百万円（同416.6%増）となりました。

なお、売上状況につきましては、ビジネスフォーム1,512百万円（前年同四半期比7.7%減）、一般帳票類645百万円（同0.7%減）、データプリント及び関連加工1,140百万円（同5.3%増）、サプライ商品55百万円（同15.5%減）となっております。

#### (2) 財政状態の分析

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて73百万円増加し、8,291百万円となりました。資産の部においては、流動資産が111百万円増加し1,829百万円、固定資産が37百万円減少し6,461百万円となりました。また、負債の部においては、流動負債が25百万円増加し1,711百万円、固定負債が5百万円減少し399百万円となりました。この結果、純資産の部においては、53百万円増加し6,180百万円となり、自己資本比率が74.5%となりました。

#### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末に比べ81百万円増加し、373百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は479百万円（前年同四半期は339百万円の獲得）となりました。これは主として税引前四半期純利益180百万円、減価償却費142百万円、投資有価証券評価損34百万円及び仕入債務の増加額57百万円によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は63百万円（前年同四半期は23百万円の使用）となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出16百万円、無形固定資産の取得による支出10百万円、投資有価証券の取得による支出55百万円及び投資有価証券の売却及び償還による収入17百万円によるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は334百万円（前年同四半期は341百万円の使用）となりました。これは主として短期借入金の純減少額257百万円、長期借入金の返済による支出98百万円、配当金の支払86百万円及び長期借入れによる収入150百万円によるものであります。

#### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	15,400,000
計	15,400,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年8月13日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	5,815,294	5,815,294	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	5,815,294	5,815,294	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日	-	5,815,294	-	798,288	-	600,052

(6) 【大株主の状況】

平成24年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数(千株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
内外カーボンインキ(株)	大阪府高槻市上土室6丁目17-1	550	9.46
株みずほ銀行	東京都千代田区内幸町1丁目1-5	266	4.59
村上文江	東京都中野区	255	4.38
光ビジネスフォーム従業員持株会	東京都新宿区西新宿2丁目6-1	240	4.14
三井住友信託銀行(株)	東京都千代田区丸の内1丁目4-1	237	4.08
瀬戸政春	東京都杉並区	174	2.99
富士フィルムビジネスサプライ(株)	東京都中央区銀座2丁目2-2	141	2.43
株りそな銀行	大阪府大阪市中央区備後町2丁目2-1	133	2.29
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	131	2.25
株ミヤコシ	千葉県習志野市津田沼1丁目13-5	122	2.11
計	-	2,251	38.72

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 26,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,763,000	5,763	-
単元未満株式	普通株式 26,294	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	5,815,294	-	-
総株主の議決権	-	5,763	-

(注) 単元未満株式には当社所有の自己株式112株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 光ビジネスフォーム株式会社	東京都八王子市 東浅川町553番地	26,000	-	26,000	0.45
計	-	26,000	-	26,000	0.45

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成24年1月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

### 3 四半期連結財務諸表について

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）第5条第2項により、当社では、子会社の資産、売上高、損益、利益剰余金及びキャッシュ・フローその他の項目からみて、当企業集団の財務状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を誤らせない程度に重要性が乏しいものとして、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

なお、資産基準、売上高基準、利益基準及び利益剰余金基準による割合を示すと次のとおりであります。

資産基準	0.3%
売上高基準	0.0%
利益基準	4.4%
利益剰余金基準	0.0%

会社間項目の消去後の数値により算出しております。

1【四半期財務諸表】  
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	292,014	373,331
受取手形及び売掛金	1,130,169	1,150,774
製品	156,121	142,431
原材料	30,511	30,446
仕掛品	13,008	17,021
繰延税金資産	12,630	20,954
その他	88,716	103,682
貸倒引当金	5,141	9,088
流動資産合計	1,718,032	1,829,554
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,627,027	1,598,460
機械及び装置（純額）	350,419	306,008
土地	2,949,069	2,948,714
その他（純額）	284,827	317,850
有形固定資産合計	5,211,344	5,171,032
無形固定資産	138,210	130,641
投資その他の資産		
投資有価証券	586,410	685,226
保険積立金	313,041	266,163
繰延税金資産	59,477	19,165
その他	200,392	199,627
貸倒引当金	9,061	10,018
投資その他の資産合計	1,150,260	1,160,164
固定資産合計	6,499,814	6,461,838
資産合計	8,217,846	8,291,392
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	811,641	869,637
短期借入金	512,180	337,710
未払法人税等	16,274	108,217
賞与引当金	17,572	19,621
その他	328,136	376,014
流動負債合計	1,685,804	1,711,202
固定負債		
長期借入金	42,530	10,900
役員退職慰労引当金	113,329	119,089
資産除去債務	23,130	23,369
その他	226,387	246,198
固定負債合計	405,377	399,557
負債合計	2,091,182	2,110,759

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	798,288	798,288
資本剰余金	600,052	600,052
利益剰余金	4,827,239	4,827,247
自己株式	17,748	17,778
株主資本合計	6,207,832	6,207,810
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	81,167	27,177
評価・換算差額等合計	81,167	27,177
純資産合計	6,126,664	6,180,633
負債純資産合計	8,217,846	8,291,392



(2)【四半期損益計算書】  
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	3,437,263	3,354,048
売上原価	2,752,268	2,577,595
売上総利益	684,994	776,453
販売費及び一般管理費	579,258	559,382
営業利益	105,736	217,070
営業外収益		
受取利息	770	785
受取配当金	9,471	7,507
受取保険金	2,191	4,391
受取賃貸料	574	1,148
雑収入	3,086	2,825
営業外収益合計	16,094	16,658
営業外費用		
支払利息	9,444	6,637
保険解約損	4,718	-
貸倒引当金繰入額	-	7,355
雑損失	2,216	3,046
営業外費用合計	16,379	17,040
経常利益	105,451	216,688
特別利益		
固定資産売却益	5,200	1,383
投資有価証券売却益	5,912	427
特別利益合計	11,113	1,810
特別損失		
固定資産除却損	44	2,624
投資有価証券売却損	487	-
投資有価証券評価損	25,779	34,271
ゴルフ会員権評価損	50	300
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,589	-
減損損失	-	355
特別損失合計	34,951	37,552
税引前四半期純利益	81,613	180,946
法人税、住民税及び事業税	61,863	102,747
法人税等調整額	2,936	8,647
法人税等合計	64,800	94,099
四半期純利益	16,812	86,847

## (3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	81,613	180,946
減価償却費	154,019	142,649
減損損失	-	355
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,589	-
投資有価証券売却損益（は益）	5,425	427
投資有価証券評価損益（は益）	25,779	34,271
役員退職慰労引当金の増減額（は減少）	3,480	5,760
役員賞与引当金の増減額（は減少）	10,500	7,900
受取利息及び受取配当金	10,241	8,293
支払利息	9,444	6,637
有形固定資産除売却損益（は益）	5,155	1,275
ゴルフ会員権評価損	50	300
売上債権の増減額（は増加）	65,366	20,605
たな卸資産の増減額（は増加）	72,193	9,742
仕入債務の増減額（は減少）	31,829	57,996
未払消費税等の増減額（は減少）	1,410	3,441
その他	50,294	83,208
小計	342,014	489,358
利息及び配当金の受取額	10,241	8,293
利息の支払額	9,163	6,489
法人税等の支払額	3,416	11,965
営業活動によるキャッシュ・フロー	339,675	479,196
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	13,787	16,619
有形固定資産の売却による収入	7,677	1,700
無形固定資産の取得による支出	6,460	10,032
投資有価証券の売却及び償還による収入	32,632	17,743
投資有価証券の取得による支出	43,440	55,777
その他	387	187
投資活動によるキャッシュ・フロー	23,765	63,173
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	70,263	257,300
リース債務の返済による支出	35,259	41,736
長期借入れによる収入	-	150,000
長期借入金の返済による支出	148,592	98,800
自己株式の取得による支出	301	29
配当金の支払額	86,872	86,839
財務活動によるキャッシュ・フロー	341,288	334,705
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	25,378	81,317
現金及び現金同等物の期首残高	319,845	292,014
現金及び現金同等物の四半期末残高	294,467	373,331

【追加情報】

当第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

前事業年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年6月30日)
<p>決算期末日満期手形の会計処理</p> <p>決算期末日満期手形の会計処理は、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当決算期末日が金融機関の休日であったため、次の決算期末日満期手形が期末残高に含まれております。</p> <p style="text-align: right;">受取手形 16,513千円</p>	<p>四半期会計期間末日満期手形の会計処理</p> <p>四半期会計期間末日満期手形の会計処理は、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第2四半期会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期会計期間末日満期手形が四半期会計期間末残高に含まれております。</p> <p style="text-align: right;">受取手形 25,062千円</p>

(四半期損益計算書関係)

前第2四半期累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
<p>販売費及び一般管理費の主なもの</p> <p>給与手当 261,897千円</p> <p>貸倒引当金繰入額 7,140千円</p> <p>賞与引当金繰入額 5,605千円</p> <p>役員賞与引当金繰入額 10,500千円</p> <p>役員退職慰労引当金繰入額 6,801千円</p>	<p>販売費及び一般管理費の主なもの</p> <p>給与手当 251,668千円</p> <p>貸倒引当金繰入額 3,964千円</p> <p>賞与引当金繰入額 5,496千円</p> <p>役員賞与引当金繰入額 13,100千円</p> <p>役員退職慰労引当金繰入額 5,760千円</p>

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
<p>現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <p>現金及び預金 294,467千円</p> <p>現金及び現金同等物 294,467千円</p>	<p>現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <p>現金及び預金 373,331千円</p> <p>現金及び現金同等物 373,331千円</p>

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自平成23年1月1日至平成23年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年3月30日 定時株主総会	普通株式	86,872千円	15.00円	平成22年12月31日	平成23年3月31日	利益剰余金

当第2四半期累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月29日 定時株主総会	普通株式	86,839千円	15.00円	平成23年12月31日	平成24年3月30日	利益剰余金

(金融商品関係)

当第2四半期貸借対照表計上額と時価との差額及び前事業年度に係る貸借対照表計上額と時価との差額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(有価証券関係)

前事業年度の末日に比べて著しい変動がないため、記載しておりません。

(デリバティブ取引関係)

当社はデリバティブ取引を行っていないため、該当事項はありません。

(持分法損益等)

関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、印刷関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	2円90銭	15円00銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	16,812	86,847
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	16,812	86,847
普通株式の期中平均株式数(千株)	5,790	5,789

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年8月7日

光ビジネスフォーム株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 森谷和正印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 渡邊康一郎印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている光ビジネスフォーム株式会社の平成24年1月1日から平成24年12月31日までの第45期事業年度の第2四半期会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第2四半期累計期間(平成24年1月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、光ビジネスフォーム株式会社の平成24年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。